

京都党とは…



2010年8月に結党した京都発のベンチャー政党。国政の風にふかれることなく、京都のまちづくりをど真ん中に見据える地域政党。組織や団体の支援を受けずに、草の根の政治活動を続ける市民党。民間に出来ることは民間に。強靱な財政健全化路線を貫く。議員定数の削減の署名活動を主導。未来を見据え、批判を恐れず、しがらみ政治を一掃中。現在、市議4名。

最高顧問

堀場雅夫（堀場製作所最高顧問）

顧問

高木壽一（元京都市副市長）

渡邊隆夫（京都府中小企業振興連盟会長）

政策顧問

村田晃嗣（同志社大学法学部教授）

風間規男（同志社大学政策学部教授）

溝部英章（京都産業大学法学部教授）

応援団会長

河内誠一（マールブランシュ創業者）

応援メッセージ



堀場雅夫

堀場製作所最高顧問

50年来の思い、京都党に託す。地域政党を京都で確立させ、将に京都発の政治改革を成し遂げるからこそ、私の悲願なのです。日本の政治制度を根幹から変え、真の地域主権実現のため、皆様のお力を京都党に与えてください。

YES!!



強靱な財政再建

右肩上がりが増え続ける京都市の借金。ついには2兆円を突破。国の借金をあわせて市民ひとりあたり1千万円。だからこそ、将来に負担を先送りする予算案に徹底抗戦。未来に責任を持てる財政基盤を目指す。

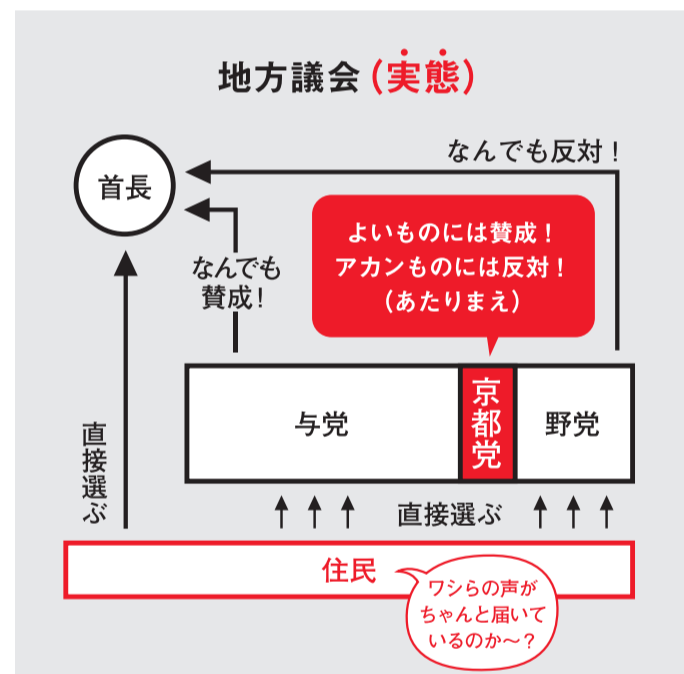
リニア誘致

リニアの京都誘致を政治的課題に最初に掲げたのは京都党。京都の生命線だと位置づけ、地元負担をすべき、市有地をJRに抛出するべき、北陸新幹線の財源をリニアに充てるべきなど、独自の誘致提言で市の論議を牽引する。

議員定数削減

行政改革は自らの身を削り行うべし。4年前、議員定数の削減を求める3万名を超える署名を当時の議会に提出。しかし、全会一致で否決。その後も削減を訴え続け、2名の削減がようやく実現。さらなる定数削減を訴え奮闘中。

我々は市民与党だ！ 脱・与野党宣言



NO!!



公務員給与の引き上げ

定年後も職員を再雇用するために、定年後の給与を最大年収で350万円引き上げる条例を市長が提案。それにより新卒の採用が縮小する見込み。若者にしわ寄せがくる公務員厚遇に真っ向から対決。京都党のみが条例案に反対した。

議員の海外視察

財政難の昨今に、飛行機のビジネスクラスに乗って、1週間で1人100万円もの予算をかける今の視察の方法はいかかなものか。行くなら自らの政務調査費を使って行くべきだと主張。府会の海外視察には共産党までが同行。

ごみ収集職員の新規採用

民間に委託するほうが安く、サービスのよい現場作業。ごみ収集作業員などの現場作業の公務員の採用は長年凍結。しかし、突然の採用再開。時代に逆行するムダな行為として再凍結を図る条例案を提案した。

同和関連施設の新設

「同和行政は終わった!」といいながら、未だに続く土地買収と住宅建設。崇仁地区の改良住宅(旧同和地区向け市営住宅)の新規建設に、同和事業の延長をすべきでないとして京都市会の中で唯一、明確に反対。